

令和2年度 上田市立長小学校 学校関係者評価シート

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった
D・・・達成できなかった

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価
かしこく きよく たくましく	◎「かしこく」 自分をふりかえり よく考える子(知) ◎「きよく」 友だちとかかわり 思いやりのある子(徳) ◎「たくましく」 すすんで取り組む ねばり強い子(体)	・今年新型コロナウイルスの中で非常に制約があり、大変な1年だった。その中で長小オリンピック・4. 5年の米作り体験等頑張る姿に感謝。子ども達主体の活動を大切にしてほしい。 ・子ども達にとって学校は、先生方との交わり、子ども同士のぶつかり合いの中で学ぶ楽しみ、新しい発見の積み重ねの場となっている。何事にも興味関心を持ち積極的に取り組むのできる子ども達であってほしい。そのための指導をお願いしたい。 ・「職員が今だからできること、今年でもできることをみんなで考えあった」という一行に子ども達への思いが強く伝わってきた。教職員としての行きの高さを感じている。 ・新しいことがたくさんある中、学校が地域の子どもと共に歩んでいることがわかり、ありがたい。 ・校外活動では、友だちに気を配って見学をしたり、質問をして学ぼうとする姿が見られ、目指す子どもの姿が生きていると感じた。 ・中止になった運動会に変わる長小オリンピックから、子ども達全員による大会運営ができ、自主的に行動する子ども達の姿を感じた。 ・コロナ禍の中、情報、制約があるが、子ども達の学習機会の確保を最大限に配慮し、目指す子どもの姿を目指し取り組んでほしい。

分野	評価項目	評価の観点	学校関係者評価				
			A	B	C	D	
重点目標	①よく考える子ども ②相手に伝える力の育成	読む力・聴く力・自分で考える力		○			・話し合い活動を重点に置くことで発表の力が伸びている。 ・授業アンケートの継続を。 ・発表の場の工夫と、自分で考え自分の言葉で表現する指導を継続してほしい。 ・良い本を読むことは、人生の大きな力となる。その力をさらに育ててほしい。 ・視聴覚機器を効果的に利用してほしい。
		・相手意識を持つ ・伝える内容の明確さ ・伝え方の工夫		○			・相手意識を持った伝え方、子ども主体の授業が多くなるよう考えてほしい。
教育活動	意欲を持って 自然・ひと・ものと関わり、問題解決をしていく授業づくり	児童が課題を持って学習に取り組む工夫をしているか。	○				・子どもの反応を大切に課題が持てるよう授業づくりに取り組んでいることがわかる。 ・教材研究の時間を作る工夫が必要。 ・黒板を最大限活用する学習に努めてほしい。
		児童が自分の考えを自分の言葉で伝える場を設定しているか。		○			・子ども達同士で説明し合う場や話し合いの場を作ってください。 ・発言が苦手な子どもへの配慮があり素晴らしい。
		児童が見通しをもって授業に取り組めるような工夫をしているか。		○			・課題を各場所の固定、ねらいの明確化等工夫をし、わかりやすい授業づくりを継続してほしい。 ・グループごとに話し合う機会を、これからも設けてほしい。
	認め合う学級	一人一人の自信(自尊感情)につながる振り返りの場を設定しているか。		○			・自己肯定感の高い児童が多い。 ・児童にとって、良さを認識してもらうことは、大きな喜びである。 ・帰りの会での振り返りが素晴らしい。振り返ることで子ども同士の気づきもうかがえる。
		友だちとの協働を生み出す活動を設定する～長つタイムの充実～に取り組んでいるか。		○			・子どもの問題意識から、総合を仕組めると良い。 ・子ども達にテーマ・ヒントを与えて、自分なりに考える力をつけてほしい。 ・「長小まつり」は子ども達が企画運営する大切な行事なので、子ども達が内容を検討しながら実施する方向を考えてほしい。
		子どもと対話し、子どもの様子を的確につかむために教育相談を学期に1回行っているか。	○				・仲よしアンケートを今後も実施し、子ども達との信頼関係を築き上げてほしい。 ・子ども達はのびのびとし、子ども達と先生が理解合っていることが感じられる。 ・紡ぐへの先生方の言葉が子ども達の励みになっている。
開かれた学校	家庭・学校・地域へ広がる あいさつ活動を進めているか。		○			・学校内では、気持ちの良い挨拶を受けている。 ・地域での挨拶が少し足りないと感じている。大きな声で言える子、小さな声の子もいる。 ・市の健全育成・見守り隊・学校・家庭・地域との協力が必要。	
	学年を越えて関わりあう活動に取り組む工夫をしているか。	○				・学年を越えて一緒に活動する良さを子ども達が感じている。 ・地域でも、児童、民生児童委員、役員が協力して活動を考え行っている。 ・少人数、低密度で交流できるので、制限等見直ししながら他学年との交流を続けてほしい。	
	長の自然・歴史(真田)・文化・伝統に学ぶ体験活動や交流活動を取り入れているか。	○				・活動の制限があっても、地域の方とできる交流・校外での学習を考えて継続してほしい。 ・今後も大事に継続し、真田町を愛する心を育ててほしい。 ・長書資料室、創立150周年に向けてさらに充実を図ってほしい。	
学校運営	地域連携 情報の発信	学校だより、学年だより、ホームページ、学校メール等で、学校の様子を知らせているか。	○				・学校便りに、学校の様子、行事のコメンが毎回詳細に書かれていて、内容がわかり、楽しみである。 ・コロナ関連の連絡については、長小独自の内容がほしい。
	学校作り 学校評議員会・CS運営委員会の運営	今年度の運営はよかったか。(開催時期・内容等)		○			・時間は良い。授業参観ができ、感染対策を行いながらも子ども達の元気な姿を見ることができ、安心にも繋がった。 ・学校運営に向けた話し合いの内容、学校運営への活かし方が明確になると良い。
	学校作り 危機管理	学校メールを活用したり見守り隊と協力したりしながら、児童の安全・安心を確保しているか。	○				・毎日の登下校時の元気な子ども達との交流が楽しく、生きがいとなっている。 ・見守り隊の方への感謝と、見守り隊による見守りがなされ児童の安心安全が保たれている。 ・集団下校を継続しながら、安全確保をお願いしたい。